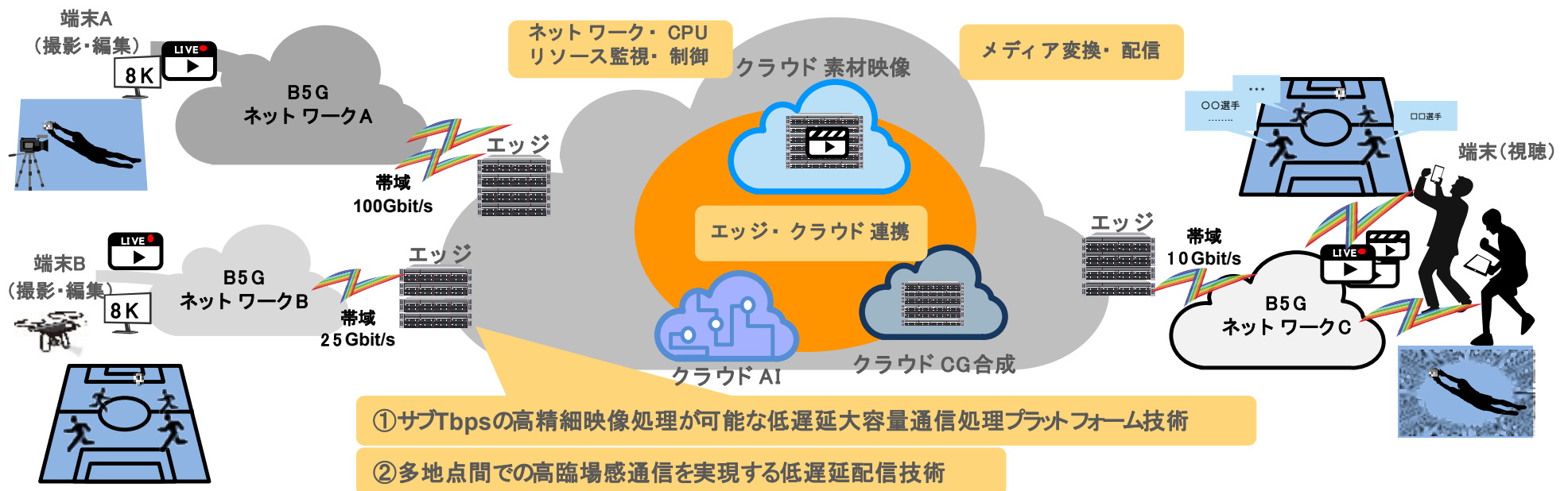


高臨場感通信環境実現のための広帯域・低遅延リアルタイム配信処理プラットフォームの研究開発

研究概要： ネットワークを介した映像配信需要の高まりを受けて、今後実現予定の高周波数帯Beyond 5 G端末の広帯域・低遅延データ転送機能と、網上のエッジコンピューティングやクラウドなど様々なコンピューティングリソースを協調連携させた高臨場感通信環境を研究開発し、誰もが8K高精細映像をはじめとする10Gbpsを超える高精細映像を使った高臨場感通信ができる環境を実現する。具体的には、サブTbpsの高精細映像処理が可能な低遅延大容量通信処理プラットフォーム技術、高臨場感通信のための多地点間低遅延配信技術を開発する。



【契約期間】 令和3年度～令和4年度（ステージゲート評価予定） **【契約総額】** 約1.1億円

【受託者】 学校法人幾徳学園 神奈川工科大学（代表研究者）、学校法人大同学園 大同大学、国立大学法人琉球大学、ミハル通信株式会社